白山の火山活動解説資料（平成 26 年 12 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

16 日に一時的な地震の増加がみられましたが、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月１日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図２）

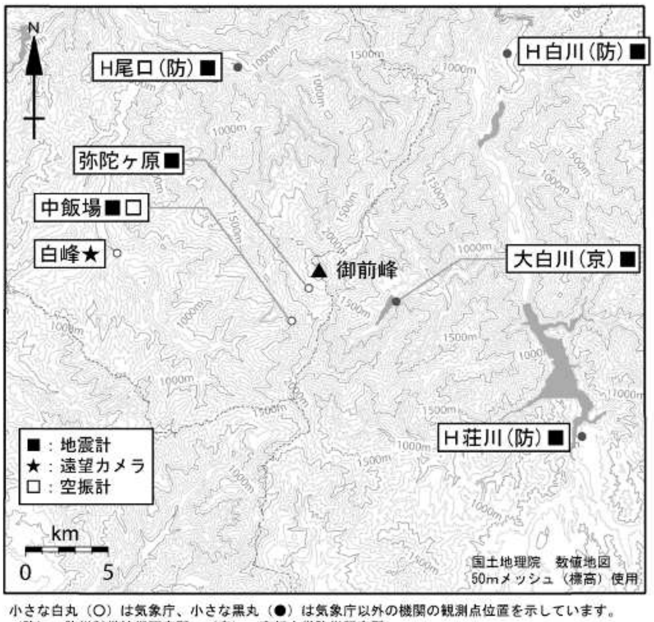
白峰遠望カメラ（白山山頂の西約 12㎞）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図３～５）

16 日 01 時 32 分頃、山頂付近の深さ約３㎞を震源とするマグニチュード（M）3.4[1)] の地震が発生し、白山周辺の石川県白山市、福井県大野市、岐阜県高山市で震度１を観測しました。この地震発生直後から３時台にかけて地震が一時的に増加しましたが、その後、減少しています。低周波地震や火山性微動は観測されていません。

白山では、これまでも浅部を震源とする地震が一時的に多発することがあり、最近では、2013 年１月 31 日 20 時 42 分のM3.3、２月１日 15 時 19 分のM3.4 の地震が発生した際に、地震が一時的に増加しました。

1）マグニチュード（M）の値は暫定値で、後日変更することがあります。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（防）：防災科学技術研究所、（京）：京都大学防災研究所

図１　白山　観測点配置図

図２　白山　山頂部の状況
（12 月 28 日　白峰遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年１月分）は平成 27 年２月９日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、京都大学、東京大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

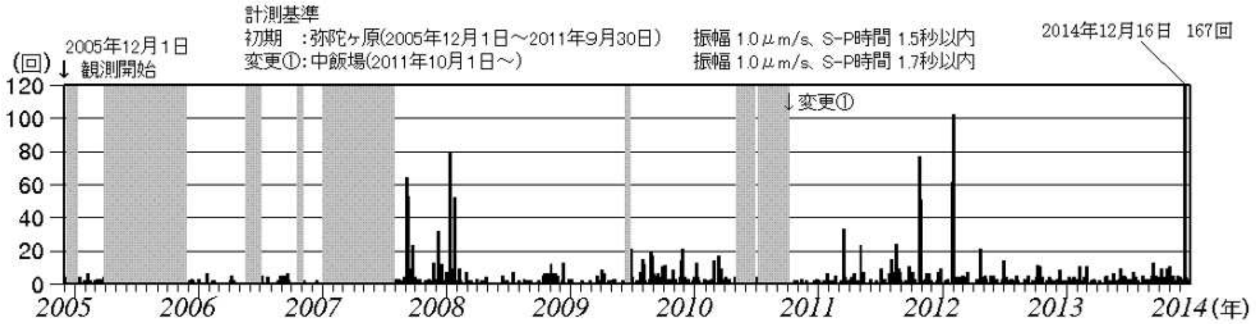


図３　白山　日別地震回数（2005 年 12 月１日～2014 年 12 月 31 日）
・図の灰色部分は機器障害による欠測期間

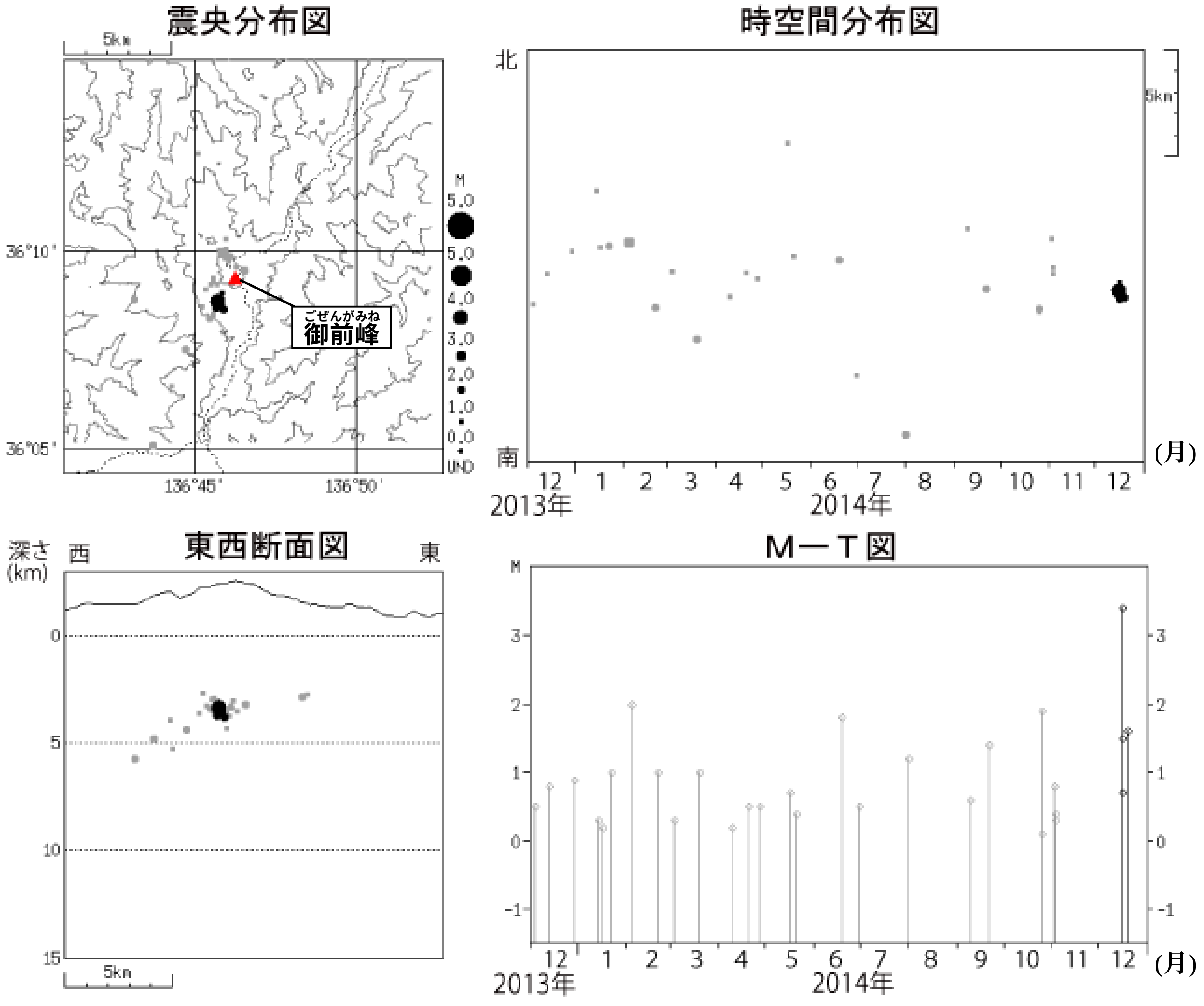


図４　白山　広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2013 年 12 月１日～2014 年 12 月 31 日）
●：2013 年 12 月１日～2014 年 11 月 30 日　　●：2014 年 12 月１日～12 月 31 日
Ｍ（マグニチュード）は地震の規模を表します。
図中の震源要素の一部は暫定値で、後日変更することがあります。

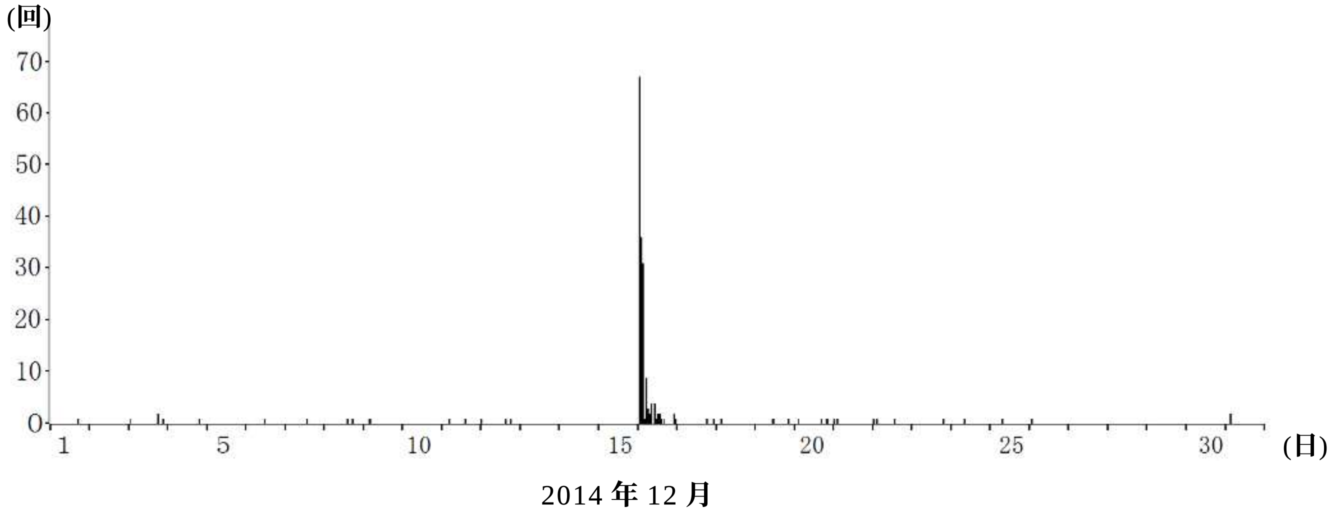


図５　白山　時間別地震回数（2014 年 12 月１日～2014 年 12 月 31 日）
16 日に一時的に地震回数の増加がみられました。